

はしがき

日本言語学会第168回大会を2024年6月29日（土）と30日（日）の両日、国際基督教大学で開催いたします。周到な準備を下された大会運営委員会の松浦年男委員長ならびに委員の方々、そして大会実行委員長の李勝勲先生をはじめ、国際基督教大学の関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

前大会と同じく今大会も、口頭発表とポスター発表は1日目に配置されています。発表の応募は69件あり、その内訳は、第1希望を口頭発表とする応募が60件、第1志望をポスター発表とする応募が9件でした。採択されたのは51件で、内訳は、口頭発表が20件、ポスター発表が31件です。口頭発表・ポスター発表の採択率は73.9%でした。口頭発表は4つの会場に分かれておこなわれますが、いずれも広い教室を割り当てられているわけですから、発表者の方は、多くの聴衆の興味を惹くよう、ぜひ発表を工夫していただきますようお願いいたします。またポスター発表の方は、口頭発表ではできない深く突っ込んだ議論が聴衆と存分にできるよう、90分という時間をどう使うか、お知恵を絞っていただければと思います。

ポスター発表の終了後は、同じ会場で「参加者交流会」を開催します。これは従来の「懇親会」を軽やかにリニューアルしたもので、前大会では大変な好評でした。よろしければぜひこちらもご参加下さい。

2日目は午前にワークショップがあり、午後には会長挨拶、学会賞授賞式、会員総会、会長就任講演、公開シンポジウムが予定されていますので、終日お楽しみいただければと思います。なお、ワークショップは応募が4件で、全て採択されています。

学会の「元気さ」は、大会を見ればわかるというのが私の持論です。大会での学術交流がさらに盛り上がりますよう、検討を続けたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

次回の第169回大会は、2024年11月9日（土）と10日（日）、北海道大学で開催されます。こちらも奮ってご応募・ご参加下さい。

2024年6月

日本言語学会長 定延利之